

23	かかと	とくにかかたが描いてあるもの。(靴のヒールが描いてあればよい。前向きの場合、靴が正しく描いてあれば+)
24	足の割合	脚と足が輪郭をもって描かれ、足の長さは足のひらから甲までの高さより長いこと。そして、足の長さが脚の全長の $\frac{2}{3}$ 以下、 $\frac{1}{2}$ 以上のもの。
25	頭の輪郭	頭の輪郭が単純なだ円、丸、四角、三角でなく、明確に頭の形に描いてあること。
26	衣服の全部	衣服がそろって、透明でなく描いてあること。上衣とズボンが必要。No.12およびNo.19が共に+であること。
27	腕の割合	腕の長さが胴と同じ長さ以上で、ひざまで達していないこと。(ひざが不明の場合、脚の midpoint とする。腕の左右の長さが異なる場合は長い方を採用する)
28	指の細部	指の細部を正しく描いていること。すなわち、描いてある全指が輪郭があつて、長さが幅より大であること。2本の指のなす角が 180° 以内のこと。ここでは指の描き方だけが問題であるから、指は5本なくてもよい(1本でも条件に合わないものがあれば一となる)。
29	頭の割合	頭の面積が胴の半分以下で $\frac{1}{10}$ 以上のもの。
30	眼の向き	瞳の向きが両眼とも一致していること。(No.20が+であること)
31	胴の輪郭	胴についてNo.25と同様の基準で検討する。(単純な円、だ円、四角でなく、何らかの意図があること)
32	指の数	指の数が正しく5本描いてあるもの(両方の手共)。
33	耳の位置と割合	耳の長さが幅より大きく、横向きなら中央に孔があつて、位置は頭の横径の $\frac{2}{3}$ 以上は出ないこと。
34	腕および脚の輪郭	腕・脚とも輪郭があることはもちろん、ことに脚のつく所で小さくならないこと。(No.16が+であること)
35	肩	肩がはっきりあらわれていること。胴から直接腕の出ているのは不可。角があるとか、丸味をおびているとか